

なよろ



名寄市観光キャラクター
「なよろ」



令和5年
第2回定例会
第 **69** 号
令和5年8月1日
発行



名寄市議会ホームページ

- 定例会で決まったこと 2
- 議決結果・意見書・議会日誌 3
- 一般質問に8人（6月23～27日） 4～7
- 各常任委員会活動報告 8～10
- 政務活動費概要報告 10
- 議員研修会・議員協議会 11
- きぼう（佐藤 喜代枝さん、水上 元気さん） 12

題字 名寄市立風連中央小学校 松本 雄真(まつもと ゆうま)さん

令和5年 第2回定例会 6月9日～6月27日

▽電気料金等高騰の影響を強く受ける低所得者世帯に給付金を支給

▽配合飼料等の高騰により経営に影響を受けている酪農事業者に支援金を給付

▽電子地域通貨行政ポイント事業への補正予算を原案可決

▽議会活性化特別委員会を設置

▽令和5年第2回定例会は、6月9日から6月27日までの19日間の会期で開会。13件の議案を審議。

▽開会初日に加藤市長から行政報告。

▽条例の改正1件、補正予算案4件、財産の取得3件、専決処分した事件4件、計画の変更1件を原案のとおり可決・承認。

▽8人の議員が23日から27日までの3日間で一般質問。うち新議員3人が登壇。

主な条例の一部改正

☆名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の位置づけが季節性インフルエンザと同類の「5類感染症」

に移行したことに伴い、新型コロナウイルス感染症の防疫

作業等に従事した場合に支給されていた特殊勤務手当が、

人事院規則の改正により廃止されたため、本市でも本条例の一部を改正しました。

主な補正予算

☆電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費

電気料金等の高騰の影響を強く受ける低所得者世帯に対し、給付金を支給するため、1億5460万円を追加しました。

☆酪農生産基盤強化支援事業費

配合飼料等の高騰により経営に著しい影響を受けている酪農事業者に対し、支援金を給付するため、792万5千円を追加しました。

☆給食センター運営事業費

食材費高騰による学校給食への影響、また保護者の負担増加を防ぐため、学校給食会に対し、補助金として800万円を追加しました。

☆南2丁目道路改良舗装事業費

道路の損傷が激しく、また名寄西小学校や大谷幼稚園などが隣接し、歩行者や交通量が多い南2丁目通りを安全安心な道路に整備しようとするため、8500万円を追加しました。

☆商業指導育成対策事業費

地域通貨運用開始に際し、プレミアムポイントを付与するため、補助金として1500万円を追加しました。

☆情報化推進事業費

北国博物館、なよろ市立天文台の観覧料とセットで地域通貨を利用できるトラベルカードを作成するため、作成業務委託料382万8千円を追加しました。

また健康イベント等、市が行う事業への参加に対して行政ポイントを付与するため、負担金として576万8千円を追加しました。

人事案件

◆人権擁護委員

上口 里 美氏（再任）

名寄市風連町字中央1282番地
長谷川 良 雄氏（再任）
名寄市西2条南6丁目25番地

議会活性化特別委員会を設置

とて、と女員き員る。
案立し、議で議図
策を拡充し、参加を
や機能を世代的に
行政の若年層に積極
活性化や若年層の積
性や活動に積極的
行いや活動に積極
議会の活性化に向け
行政の活性化に向け
議会の活性化に向け

令和5年 第2回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	財産の取得について	原案可決
議案第3号	財産の取得について	原案可決
議案第4号	財産の取得について	原案可決
議案第5号	専決処分した事件の承認について (令和4年度名寄市一般会計補正予算(13号))	承認
議案第6号	専決処分した事件の承認について (令和4年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))	承認
議案第7号	専決処分した事件の承認について (令和4年度名寄市立大学特別会計補正予算(第4号))	承認
議案第8号	専決処分した事件の承認について (令和4年度名寄市病院事業会計補正予算(第3号))	承認
議案第9号	令和5年度名寄市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第10号	令和5年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第11号	令和5年度名寄市立大学特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第12号	名寄市過疎地域持続的発展市町村計画の変更について	原案可決
議案第13号	令和5年度名寄市一般会計補正予算(第3号)	原案可決

第2回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎ 2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◎ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ◎ 地方財政の充実・強化に関する意見書
- ◎ 食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める意見書

議会日誌 5~7月

5/1 各会派代表者会議
 5/8 各会派代表者会議
 5/12 第1回臨時会
 5/17 上川北部市町村議会議長会
 (5月定例会・総会)(藤花)
 5/19 各会派代表者会議
 5/23 自治体病院議員連盟総会(東京都)
 全国自治体病院開設者
 協議会定時総会(東京都)
 5/24 北海道市議会議長会道北支部
 議長会(春季)(紋別市)
 5/25 総務文教常任委員会
 5/29 全国自治体病院経営都市議会協議会
 理事会・定期総会(東京都)

5/30 北海道市議会議長会
 定期総会(札幌市)
 6/1 市民福祉常任委員会
 経済建設常任委員会
 6/2 各会派代表者会議
 6/6 議会運営委員会
 議会報特別委員会
 6/9 第2回定例会開会
 議員協議会
 各会派代表者会議
 6/13 全国市議会議長会役員選考委員会(東京都)
 6/14 全国市議会議長会定期総会(東京都)
 6/15 全国市議会議長会共済会
 代議員会(東京都)
 議会報特別委員会

6/23 各会派代表者会議
 議会運営委員会
 6/26 議会報特別委員会
 議員協議会
 6/27 第2回定例会閉会
 各会派代表者会議
 7/3 市民福祉常任委員会
 7/10 経済建設常任委員会
 7/11 全国市議会議長会基地協議会
 理事会(東京都)
 7/18 議会報特別委員会
 7/27 総務文教常任委員会
 7/31 全国市議会議長会基地協議会
 北海道部会役員会(帯広市)

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



官民連携のまちづくりを



市政クラブ

東川孝義 議員

後期計画推進の考え方は

問 名寄市総合計画(第2次)後期計画が今年の4月よりスタートし、第2次計画の仕上げの4年間である後期計画推進に向けて基本となる考え方は

答 総合計画(第2次)の最終となる後期計画においては、基本構想で描かれたまちづくりの方針に沿って、各種事業を推進し、PDCAを回しながら成果指標(KPI)の達成に向けて取り組むことにより、基本構想の実現につなげていく。また、SDGsの達成に向けた取り組みを推進するため、それぞれの主要施策とSDGsの関係の見える化を図るため後期計画から導入した。

公共施設等再配置計画は

問 公共施設等再配置を進めるうえで、まち・ひと・しごと創生人口ビジョンが大きく関わってくるが、直近の国勢



老朽化で対応が急がれる市立図書館

調査をどのように受け止め目指すべきまちづくりは。都市計画マスタープランにおける公共施設等再配置の考え方は。

答 公共施設を戦略的に配置するにあたり、中心市街地の活性化や住民生活の質の向上などを目指し、人が集まるまちの重心(コア)を設定し、商業施設や住宅などコンパクトで一体感のある中心市街地形成に向け、市民が集う空間を目指して進めていく。また、中心市街地の民間空きビルの老朽化が激しく危険な状態にあり、庁内にワーキンググループを設置し、跡地活用に向けて早急に取り組んでいく。



「取り残さない」の実現を



市民ネット

山崎真由美 議員

生涯活躍プロジェクトの推進

問 名寄市総合計画(第2次)後期基本計画に生涯活躍プロジェクトが追加された。しかし、地域によっては、会員数の減少や役員・事務局員の担い手不足で解散した老人クラブもある。生涯健康で活躍できる環境づくりを目指して、支援策は。

答 老人クラブの解散は、会員数の減少とともに、稼働年齢が高くなってきたことも要因である。老人クラブ連合会の事務局を社会福祉協議会が担当し支援しているが、今年が高齢者保健医療福祉計画と介護保険事業計画の策定年であることから、委員会で見解を聞く機会を持ちたい。

安定した学びの保障を

問 コロナ禍を経て、不登校児童・生徒数が増加の傾向にある。国からも誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について通知が出



安定した学びの環境づくりに関係者一同連携

され、その対策がCOCCOLOプランとして示されたが、本市の更なる対応を伺う。
答 校内体制の充実、相談体制の強化、ICT機器を活用した遠隔授業の実施、スクーリングやソーシャルワーカーの継続的な配置、の4点を特に今年度の重点としている。スクーリングやソーシャルワーカーは今年度2名体制としている。心が安定する教育の実現を目指し、連携した取り組みを進めたい。
他の質問 ヤングケアラーに対する支援策について

※PDCA : P…Plan(計画)、D…Do(実行)、C…Check(測定・評価)、A…Action(対策・改善)

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



住みつづけたいまちづくり

市政クラブ

遠藤 隆男 議員

公園の管理運営等について

問 本市の公園の現状について伺う。

答 本市が管理している都市公園法に定められた都市公園は31か所ある。令和4年度以降は、後期総合計画で改修を予定している公園整備に対する市民アンケートの結果から、経年劣化や故障により休止している噴水などの水遊び場や東屋などの休憩施設、トイレなどの便益施設の更新を計画し、公園改修事業を進めている。

問 名寄公園の園路周辺のミズナラの木の空洞化が目立つが、安全性について伺う。

答 今年4月16日未明に神奈川県相模原市のキャンプ場で発生した、倒木により利用者が亡くなった事故を受け、市内に樹木がある都市公園において、目視及び触手による一斉点検を行った。危険性のある樹木は発見されなかったが、



「安心・安全」なまちづくりを

名寄公園の園路など、利用者が多い公園施設の周辺に位置する高木については、より安全に、より慎重な対応が必要と考えている。担当職員や委託業者の見回りを継続し、判断が難しい場合には、樹木医などの有識者に相談できる体制づくりも検討していく。

他の質問 持続可能な公園の管理運営の考え方、ICT教育の現状と課題、長期欠席者の現状と対策等、特別支援教育の現状と課題について



風連IC防災面からも必要

市政クラブ

谷 聡 議員

子育て政策の充実を

問 医療費助成制度の拡充や給食費無償化の取り組みを実現し、「子育てするなら名寄で」とアピールして、子育て世代を名寄に呼び込むことを積極的に行うべき。

また、地域全体での子育てを実践するため、給食に使用する食材の寄付を募るべきでは。

答 医療費助成を市独自財源で実施するには、財源の確保、市立病院の受け入れ体制等、議論が必要。給食費無償化については持続的な財源確保は難しい。毎年度多額の財源が必要となる。国の動向には注視したい。

風連地域へインターチェンジ設置を

問 現在、整備が進められている北海道縦貫自動車道の士別剣淵インターチェンジと名寄インターチェンジとの間に、地域住民の利便性や防災時・



北海道縦貫自動車道 士別剣淵～名寄

緊急時の対応に必要性が高いことから風連インターチェンジを設置すべき。

答 新たなインターチェンジは建設費や維持管理費負担が自治体に求められる。財源確保の問題点はあるが、防災などの観点から必要性は認識している。自治体負担を抑える方法も含めて国に要請していく。

他の質問 名寄インターチェンジ拠点整備構想

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



域内循環で強い農業を

市政クラブ 水間 健詞 議員

輸入農業資材について

高騰が市内農業に与える影響、行政の対策について。

行政の対策について。

高騰している」と認識し、農産物生産費を押し上げてい

る。国・道・名寄市では家畜飼料・肥料高騰の影響低減に

向けての補填支援事業を講じている。エネルギーは国で機

器・設備・機械装置に対する支援制度拡充を行っており、

情報提供に努める。

飼料の自給について

濃厚飼料自給に向けた取り組みについて。

子実コーンの栽培試験では道北地域平均と同等の収量は得られたが、収穫後の乾燥・保管・流通に検討が必要

域内で循環自給するには一定の加工が必要なため、直接供給利用は難しい。現在は経済

的価値に加え土壌改良の付加価値も含めた中での作付けと、

収量増・経費削減と組み合わせ

る。



域内循環・効率的な農地利用で環境変化にタフな農業へ

せて収支を改善させていく必要がある。

耕種・酪畜の連携について

圃場へのアクセス、飼料・堆肥の域内での循環について。

農地の整備については土地改良事業があるが採択基準があるため難しい。取付道路の整備は地域によっては中山間

地域等直接支払交付金による対応を行っている。

飼料は市内での供給が行われている。堆肥は自家利用が多いが販売も行われている。

循環型農業が求められるなか地域での耕畜連携を推進したい。

名寄市立大学の発展に向けて

共生なよろ 中島 孝幸 議員



志願者数の確保について

優秀な学生を確保する方策としてどのような事を考えているか。また、外国人留学生受け入れの考えはないか。

本年度から看護学科に助産師課程を開設し魅力的な教育カリキュラムの導入を図っている。また、2020年度

から新たに仙台市に試験会場を設置し、東北以南の受験生確保に努めている。外国人留学生受け入れも検討を進めて

いかなければならない。

学生に対する多方面のケアは

学生への経済面、生活面でのサポートについて伺う。

名寄市立大学給付型奨学金「めいだい奨学金」制度があり、各学科各学年1名計16名に月2万円給付している。

また、健康サポートセンターを設置し、学生からの相談に応じられる体制を整備している。

教員に対する支援は

外部資金獲得に関わってどのような支援を行っているか。

令和5年度科学研究費補助金への新規応募数は18件、採択数は5件であった。採択経験のある学内教員が講師となり計画書作成や審査ポイントについて研修会を開催し、採択に向けた取り組みを進めている。

他の質問 スポーツ合宿の誘致に向けて、宗谷本線の活性化に向けて



約800人の学生が集い学ぶ名寄市立大学

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



不登校者へ学びの保障を

公明 高橋伸典 議員

不登校児童対策の強化を

問 文部科学省の「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCCOLOプラン)」が示す、スペシャルサポートルームの設置、多様な学びでの成績評価、スクールカウンセラーによる保護者への支援についての考えは。

答 現在、小学生22名、中学生54名の不登校生徒が学校・社会とのつながりを切らさないため、本年度、校内体制の充実、相談体制の強化、ICTを活用した遠隔授業、スクールソーシャルワーカーの継続配置の4つを連携させた対策強化を進め、COCCOLOプランの趣旨に一致している。

保護者支援では、孤立させないためにも支援は重要。教育相談センターが、令和2年1月から月1回、「保護者のつどいの会」を児童センターで開催している。保護者同士

が悩みや不安を話し合い、交流している。現在は社会福祉士の職員がコーディネーター役を務めているが、今後はスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーも参加させ、より効果的な保護者支援に努める。

に努める。

学校トイレに温水洗浄便座

座と災害時に避難所となる学校施設に多目的トイレ設置を。
答 今年度、名寄西小8か所、名寄東中7か所を洋式化。順次計画的に更新する。多目的トイレ・温水洗浄便座は、総務省の「緊急防災・減災事業債」など有利な財源を活用できる場合は活用する。



誰1人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策



徹底した個人情報の保護を

日本共産党 川村幸栄 議員

個人情報流出への対応は

問 マイナンバーカードをめぐり、個人情報が流出するミスが続発。5月30日には、全国知事会が政府に対して「マイナンバーカードの安全・安定的な運用に向けた緊急提言」を出す異常事態である。名寄市の個人情報の保護対策は。

答 手続きは基本的に窓口に来られた方、本人に人力を行ってもらうなど細心の注意を払いながら行っている。名寄市における誤交付、誤登録などの事例は今のところない。
問 マイナ保険証のメリット、取り扱いについて伺う。
答 マイナ保険証については誤った登録手続きがあるようだが名寄市では事例はない。自分の保険証の内容確認はマイナポータルサイトから可能窓口でも相談内容に応じて適宜対応したい。

問 自衛隊への名簿提出、



交通弱者の移動の権利を守ることが何より大切です

他の質問 市営住宅について

問 「除外申請」について市民周知は。
答 平成31年度から依頼に基づき名簿の提供を行っている。現在「除外申請」は実施していない。実施している自治体などから状況等調査したい。
問 AI活用型交通の導入について
答 市民が安心して利用できる利便性の高い公共交通を求めるが、利用方法、利用料金は。
問 路線バスとタクシーの中間的位置づけのもの。電話やスマートフォン、インターネットから予約。料金は検討中。

総務文教常任委員会活動報告

5月12日に市議会議員改選後初の委員会を開催し、正副委員長との互選を行いました。

5月25日には第2回委員会を開催し、各所管部署より令和5年度における主要事業の概要などについて説明を受けました。

名寄市立大学の運営では、大学の現況、コミュニティケア教育研究センターの活動計画並びに魅力プロジェクトによる活動状況の説明を受けました。

教育部からは各所管の説明に加え、NAYOROSスタイル部活動改革推進事業、智恵文小中学校整備事業、名寄中学校整備事業、新名寄高校支援事業、学校給食センター施設改修の説明を受けました。

総合政策部からは、名寄市過疎地域持続的発展市町村計画、公共施設等再配置計画推進事業、ゼロカーボン推進事業、物流拠点化構想「名寄インターチェンジ拠点整備構想」、AI活用型オンデマンド

ド交通の導入、外国人材活用地域公共交通の取組についての説明を受けました。

総務部からは、住宅・土地統計調査、DX（デジタル・トランスフォーメーション）事業の推進、財政課からは名寄市福祉及び社会教育関係団体活動推進補助金交付要綱の改正についての説明を受けました。

総務文教委員会では、委員会の取組テーマを「複合施設のあり方について」と選定し、これから具体的な活動を進めていきます。



市民福祉常任委員会活動報告

第1回委員会報告

5月12日に委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。

第2回委員会報告

6月1日に委員会を開催し、市立総合病院から手術室増改修事業、名寄市病院事業経営強化プラン及びに係るパブリック・コメント、公立病院の経営強化のための取り組み、専決処分した事件の承認、債権の放棄、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う病院対策の緩和について説明を受け、質疑を行いました。

市民部から令和4年度国民健康保険特別会計決算報告、医療費適正化、マイナンバーカードの交付状況、名寄市合同墓、公共施設照明のLED化事業、高齢者等ゴミ出し支援事業、資源ごみのリサイクル実績、旧焼却施設解体工事の進捗状況、令和4年市税収納状況、コンビニ・スマホ納付決済、補正予算の概要につ

いて説明を受け質疑を行いました。

健康福祉部から第7期名寄市障がい福祉実施計画の策定、名寄市健康増進計画「健康なよる21（第3次）」の策定、名寄市生きるを支える自殺対策計画（第2次）の策定、戦没者追悼式、平和音楽大行進、認定こども園整備事業、新型コロナウイルスワクチン接種、後期高齢者率、介護保険事業、オーラルフレイル市民イベント、ポラリスネット、補正予算の概要について説明を受け質疑を行いました。



経済建設常任委員会活動報告

改選後初の委員会

5月12日、第1回委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。

第2回委員会

6月1日に第2回委員会を開催し、各所管部署から令和5年度における主要事業の概要などについて説明を受けました。

経済部からは、経済部・農業委員会事業概要のほか、名寄市森林整備計画の樹立について、及び電子地域通貨について説明を受けました。

建設水道部からは、所管建設工事発注事業として、予定委託業務44件、予定工事74件合わせて39億6738万4千円を予定しているとの報告がありました。

また、令和4年度の除排雪事業については、累積降雪量は前年とほぼ同量であったが、苦情件数は344件と、前年に比べ96件多かったと報告を



受けました。排雪ダンプの助成事業については、一般住宅・店舗併用住宅共に申請件数は減ったが、助成台数は増えたとの報告がありました。

電子地域通貨

名寄市独自の電子マネーによるキャッシュレス決済について説明を受けました。市内加盟店が電子地域通貨を導入することによって、既存の商業振興サービスの一体化、キャッシュレス化、域内経済循環サイクルの確立を目指しているとの説明がありました。

議会スナップ チャレンジデー

チャレンジデー2023のイベントのひとつ、「市民綱引き大会」がスポーツセンターで開催され、市議会議員チームも参加しました。

議員の平均年齢は65・9歳。参加チームの中では最高齢がみられません。

ハンデが欲しいくらいだと思っていました。始まってみると2勝もしてしまい、予定していた反省会の時間に間に合わないのでは、という心配も出てきました。

チャレンジデーは今年で最後のことですが、とにかく皆さん、お疲れさまでした。

来年以降も何か違った形でチャレンジし続けたいと思います。



議会スナップ 風舞あんどん

6月17日、4年ぶりとなる風舞あんどんが今年も開催される。市民に合わせた開催され、議員会でも参加した。

好天に恵まれる中、1年で最も長い時期に行われたあんどん行列。薄暮の中沿道の皆さんの拍手を頂きながら、およそ1時間の行進でした。

当日はステージイベントなども行われ、さらに杉並区から高円寺阿波踊りの方々も駆けつけていただき、市内の風舞連と一緒にあんどん行列にもご参加いただきました。見事な阿波踊りとの共演で賑やかに開催することが出来ました。



議会運営委員会活動報告

令和5年第2回定例会の日程、議事運営などを協議するため、6月6日と6月23日に委員会を開催しました。

6月6日の委員会では、会期を6月6日から6月27日までの19日間とすること、一般質問は23日・26日・27日の3日間とし8名の議員が登壇すること、また市民との意見交換会の開催について開催日・開催場所・班編成及び担当地区・報告事項等の内容を確認しました。

上程議案は、名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について他16件と諮問1件について審議することを確認しました。

その他、新型コロナウイルス感染症に関する議会としての対応について、5類感染症に移行したことに伴い、感染対策、マスク着用の取り扱い等、個人の判断に委ねることを確認しました。



6月23日の委員会では、定例会最終日の議事日程、議案等について協議、2件の追加議案について審議すること、また意見書案、例月出納検査報告、議会活性化特別委員会の設置及び委員の選任、閉会中継統審査について確認しました。

政務活動費の概要について報告します。

政務活動費とは

◇政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派(所属議員1人の場合も含む)に対して交付されています。【交付額は議員1人当たり、月額 10,000 円です。】

令和4年度 名寄市議会各会派などの政務活動費概要報告

単位：円

区分	市政クラブ	市民ネット	公明	日本共産党	合計
当初交付額	1,200,000	720,000	120,000	120,000	2,160,000
支出	調査研究費	1,465,050	822,030		2,287,080
	研修費		12,000		12,000
	広報費				5,455
	広聴費				
	要望・陳情活動費				
	会議費				
	資料作成費				
	資料購入費	12,540			19,200
	人件費				
	事務所費				
支出合計	1,477,590	834,030	0	24,655	2,336,275
未執行額(返還額)	0	0	120,000	95,345	215,345
令和4年度交付額	1,200,000	720,000	0	24,655	1,944,655

※交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

6月26日

議員研修会

講師に堀田信雄氏（地域活性化起業者）を迎えて、「電子地域通貨による持続可能なまちづくり・地域振興の促進」と題した全議員対象の研修会が開催されました。名寄商工会議所が今年中にも運用を開始する予定の電子地域通貨は、キャッシュレス化だけでなく、地域内の好経済循環サイクルを確立することが期待されています。研修会では、電子地域通貨の利点は何か、また、電子地域通貨によってどんなことが可能になるのかについて、将来の可能性も含めて具体的な説明を受けました。

講師に堀田信雄氏（地域活性化起業者）を迎えて、「電子地域通貨による持続可能なまちづくり・地域振興の促進」と題した全議員対象の研修会が開催されました。名寄商工会議所が今年中にも運用を開始する予定の電子地域通貨は、キャッシュレス化だけでなく、地域内の好経済循環サイクルを確立することが期待されています。研修会では、電子地域通貨の利点は何か、また、電子地域通貨によってどんなことが可能になるのかについて、将来の可能性も含めて具体的な説明を受けました。



全議員を対象に行われた電子地域通貨に関する研修会

議員協議会

定例会初日9日午後、議員協議会が開かれ、(株)名寄振興公社の経営状況について報告がありました。令和4年度の事業内容では、待ちの姿勢からの脱却を意識し、市内各イベントへの出張販売など積極的に行い、当期純利益は74万3千2百円となりました。また、令和5年度の計画では、温泉施設リニューアル効果が期待できるとし、夏場のスキー場の活性化に「ヒルクライムレース」を全面に推しながら、ピヤシリ山のドローン飛行とセットにしたプランの検討もしたいと報告がありました。



26日には、電子地域通貨の導入に必要な補正予算について説明が行われました。

議会を傍聴しませんか！

市民の声を市政に届けます!!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また臨時会も必要に応じて開催されます。

- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局（☎01654-3-2111）へお問い合わせください。



☆ き ぽ う ☆



言葉の使い方と時代の流れ

佐藤 喜代枝

平成11年(1999年)、この年初めてパソコンを手にし、慣れない操作を後輩に習いながら必死に覚えたものでした。息抜きはメル友とのやり取り。翌年の元旦、あけおめことよろとメールが届き、一瞬たじろいだ私は、これが「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。」の略であると感じたものの、ここまで省略しなくても思いつつ、時代の流れを感じ、何やら寂しい気持ちになりました。大切なのは服装に正装と略装があるように、言葉にも同じことが言えるということ。場面によって適切に使い分けることが大切ではと思っています。これから社会の中心となっていくZ世代に期待を寄せながら、若者の新常識の倍速視聴を試みたり、略語や不可解な事柄が生じた時は、スマホを駆使して解決を心がけようと、時流に乗り遅れることのないようにと思うこのごろです。



地域の繋がり

水上 元気

私は調理師になることが幼い頃からの夢でした。専門学校を卒業し、無事調理師免許を取得。ホテルへの就職が決まったものの、志半ばで挫折し地元へ帰ることを決めました。地元へ帰ってすぐ実家に就農し、地域の人たちの紹介もあって米麦乾燥施設やスキー場で働かせてもらえることになりました。それから6年。田植え、アスパラ収穫、乾燥施設、稲刈り、スキー場と一年中忙しい日々ですが、新しく家庭を築くことも出来て、とてもやり甲斐を感じています。いまの自分があるのは地域の繋がりがあってこそだと思います。名寄で生まれ育ち、何気なく過ごしてきましたが、とても地域の繋がりが強いまちだと感じています。いまの名寄市でも少子高齢化が進み、人口が減少しています。だからこそ「繋がり」を大切に「繋げる」よう、これからも邁進したいと思います。

表紙の写真は「名寄中学校吹奏楽部」です。

私たち名寄中学校吹奏楽部は、部員14名と少ないながらも「全力疾奏～天まで届け名中サウンド～」のローガンのもと、日々練習しています。演奏の機会も徐々に増え、今年度は入学式などの校内行事や吹奏楽祭、ふれあい広場などで、練習の成果を発表することができました。現在は、8月に行われる吹奏楽コンクールに向けて、部員一丸となって練習に励んでいます。これからも、地域の皆様に私たちの音楽を届けることができるように、部活動に取り組んでいきたいと思っています。



編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行して1か月▼名寄市議会も4月選挙を経て5月から16名の新しい議員の顔ぶれとなり、6月の定例会が開会されました。8名のうち、新人3名が登壇し一般質問に挑戦しました▼「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れる」とはホンダの創業者・故本田宗一郎の言葉だ▼私たち議会報特別委員会は「議会だより」の他に、一般質問の要旨や定例会終了後の速報版意見交換会のお知らせのため「かわら版」を発行。各常任委員会活動もわかりやすく見やすいように文字数を決め、写真も多く使いスペースを広くしました▼市民の皆様にも少しでも読んでいただき愛される議会だより「なよろ」を目指し、4年間編集にチャレンジし取り組みを頑張っています。

(伸)

